

学校教育係

「はじめよう!道徳科」を活用した授業改善

今年度より「特別の教科 道徳」が小学校でスタートしました。各校では「考え、議論する道徳」を意識しながら、着実に授業が実施されています。しかし、登場人物の心情について考えることが中心になってしまう、という声も聞かれます。そこで指導資料「はじめよう!道徳科」(県教委 H30.3)を活用し、「考えさせたいこと」を明確にした授業づくりの例について紹介します。



道徳教育推進教師

今日の授業、登場人物の心情について、ほとんどの子が考えを発表していましたね。ところで、先生が「考えさせたかったこと」は、どんなことだったのですか？



授業者

えっ!?

「考えさせたいこと」を明確にした授業づくりが、「考え、議論する道徳」に向けての第一歩です。指導資料を見ながら、一緒にポイントを確認してみましょう。

指導資料2ページの「授業づくりの流れ」を見ると、「考えさせたいこと」を価値観・児童生徒観を受けて、明らかにすることが大切だと分かります。次の教材「お月さまとコロ」(2年)で考えてみましょう。

ポイント1：価値観(ねらいとする道徳的価値に関わる見方や考え方)を明らかにする

【小学校年間指導計画 2年】

主題名:「すなおな心で」 A 正直、誠実

資料名「お月さまとコロ」

ねらい: 自分に素直になることで晴れ晴れとした気持ちになることに気づき、素直に謝ろうとする態度を養う。

(※T小学校の資料をもとに作成)

【あらすじ】

コオロギのコロが、何度も遊びや歌を歌おうと誘ってくれた友達のギロに意地悪をして、ついには怒らせてしまう。謝ろうかどうか迷うが、なかなか心が決まらない。その様子を見ていたお月様の「顔をつゆの玉で見てごらん。」という言葉聞き、暗く沈んだ悲しそうな自分の顔を見て驚き、コロは涙を流す。お月様の言葉に励まされ、大きな声で歌を歌ってみたコロは、素直な気持ちをもつことで心が晴れ晴れすることに気づく。そしてコロは、ギロに謝ろうと心に決める。

指導資料の左上に価値観の説明がありますが、具体的にはどうすればよいですか？



年計で主題名やねらいを確認し、学習指導要領の解説などを根拠に、本時でねらいとする道徳的価値に関わる先生の見方や考え方を明らかにします。

そうすると、年計は左のとおりです。解説に「いけないことをしてしまったときには素直にあやまることができる」がこの学年の指導の要点とあるので、このような態度を養いたいと思います。

先生自身の価値観が明確になりましたね!次に指導資料の手順に従って、児童生徒観と「考えさせたいこと」を検討してみましょう。

ポイント2：価値観、児童生徒観を受けて「考えさせたいこと」を明確にする



児童生徒観まではまとめられたのですが、「考えさせたいこと」が・・・



素直に謝れないのは、なぜですかね？課題の原因から考えてみてはどうですか。

素直に行動することのよさや清々しさを、あまり感じたことがないからかもしれません。

では、「素直に行動することのよさ」を考えさせたらどうでしょう。それに、実態を踏まえ「難しさ」も加えられると、より深く考えられますね。

なるほど・・・教材では、コロが謝ろうと心に決める時の思いを考えさせるのがよいでしょうか？

そうですね。そういう経験は子どもたちもしているでしょうから、「よさ」と「難しさ」の両面から考えが引き出せそうですね。



「考えさせたいこと」を基に、子どもたちの考えを引き出すことが大切なのですね。



「考えさせたいこと」を明確にするからこそ、ねらいとする道徳的価値に関する考えを引き出すことができます。自分との関わりで考えさせたり、多面的・多角的に考えさせたりするための工夫なども、これに基づいて行うことが大切ですね。

児童生徒観

※指導資料にあるように、道徳的価値に関わるこれまでの指導を踏まえます。

児童生徒の実態

【よさ】 悪いことをしてしまったとき、謝らなければならないことは分かっている。

【課題】 意地を張って、自分が悪いと認めたり謝ったりできないことがある。

実態から求められること

意地を張らずに悪いと認め、素直に謝ろうとする態度を養いたい。

考えさせたいこと

素直に行動することのよさや難しさ

教材観

素直に行動することのよさと難しさを考えさせるために、コロが謝ろうと心に決める時の思いを考えさせたい。

中心発問

コロが謝ろうと心に決める時、どんなことを思ったでしょう。



謝ろうと決めたら、心がすっきりした。



ぼくが悪かったな。謝りに行こう。でも、ゆるしてくれるかな・・・

「はじめよう!道徳科」には、他にも「考え、議論する道徳」への転換を図るためのチェックポイントや工夫例などが示されています。また、「利根沼田の教育」第37号でも「自分との関わりで道徳的価値を捉え、深く考える」ための指導方法の工夫を紹介しています。授業改善に向けて、積極的に御活用ください。